



白いこころ

想いのかたち

「何でもいから、食べさせて！」

飲み込みの力が低下し、食べることができない患者さん。もう、一か月は自分の口から食事を摂っていない。

安全に飲み込むための訓練を続けていたある日、患者さんが隠れてアイスクリームを食べた。

ごえん誤嚥の危険性を考えると

本当だったらしっかりと注意しなければいけなかった。

でも、強くは言えなかった。

「おいしかったあー」と満面の笑みで話すその姿を見たとき、

患者さんにとって「食べること」が

何より大切だと気づかされたから。

決められたとおりに訓練することは大切だ。

でも、「患者さんが大事にしていること」は何かを考え、向き合ってリハビリしていくこと、

それが本当の意味での回復につながると思う。

たとえ遠回りになっても、

それぞれの想いのかたちを大切にしていきたい。